

ICTを活用した授業の工夫：1人1台端末を活用し、各自で知識の習得が図れるようにする。

1 主題名 節度ある生活を送る A (2) 節度、節制

2 教材名 「箱根駅伝に挑む」
出典 中学道徳 2 (光村図書)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする指導内容

本教材は、中学校学習指導要領の内容項目 A (2)「節度、節制」を受け、「将来をより豊かにするため生活習慣について考えさせ、節度ある生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる」ことをねらいとしている。中学校1年生の頃から、節度、節制の大切さについて学習を重ねており、その理解を深めている。しかし、望ましい生活習慣を築こうとする気持ちを持ちながらも、やるべきことが増え、規則正しい生活がついおろそかになりがちである。そこで、望ましい生活習慣を身に付けることが、充実した人生を送る上で欠くことのできないものであることを生徒に実感させたい。さらに、自ら節度、節制を心がけるよう道徳的実践意欲を高めたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態と教師の願い

(実施日 令和4年5月6日 計27人)

見直したい生活習慣 (複数回答可)		目標にしていること	
就寝時間が遅い	9人	部活動に関して	11人
携帯の使い過ぎ	7人	礼儀	4人
宿題を後回しにする	3人	学習に関して	4人
のんびりしている時間が長い	2人	生活面に関して	2人
勉強時間が短い	2人	何事も全力で取り組む	2人
ゲームの時間が長い	2人	何事も挑戦する	1人
なし	2人	何事も諦めない、頑張る	2人
その他	5人	友人関係	1人

生活習慣の中で見直したいことについてアンケートを行った結果、「就寝時間が遅い」と回答した生徒が9人、「携帯やゲームの時間が長い」と回答した生徒が9人と、多くの生徒が生活習慣の中で改善したいことがあるということが分かる。また、目標を持っていることについてアンケートを行った結果、全ての生徒が目標を持っており、その目標に対して努力していることがあった。

このような生徒の実態から、本時では、充実した生活を送るために、節度や節制を心がけ、さらに実践できるように授業を展開していく。

(3) 教材について

本教材は、2015年の東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)において初優勝し、その後3連覇を成し遂げた青山学院大学陸上競技部(長距離ブロック)の取り組みを追った内容である。選手たちが、自らの生活の在り方を積極的に見直すことで、自己管理能力を高め、記録更新へつなげていく姿から、望ましい生活習慣を身に付けることの大切さについて考えることができる教材である。

本教材を通して、本時のねらいである「将来をより豊かにするため生活習慣について考えさせ、節度ある生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる」ことを達成するためには、生活習慣を見直すとともに、実践しようとする態度を育む必要があると考える。そのため、導入段階では、生徒自身の生活習慣について改善点を挙げ、生徒の問題意識を高める。次に、文章を読んで節度ある生活をする必要性を考える。さらに、ポジショニング機能を用いて気持ちの変容を可視化し、自分の気持ちの変化を見つめ直すことで、自らの生活習慣を改善し、実践しようとする意欲を持てるようにする。

4 本時の指導

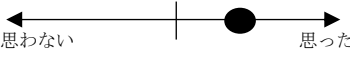
(1) ねらい

将来をより豊かにするため生活習慣について考え、節度ある生活を送ろうとする道徳的实践意欲と態度を育てる。

(2) 準備・資料

教科書・ポートフォリオ・1人1台端末・プロジェクター・スクリーン

(3) 本時の展開 (○ 補助発問 ◎ 中心発問)

	主な活動と発問	予想される生徒の反応	生徒への援助・支援 評価 (ICTの活用 ゴシック体)
導 入	1 自分の生活について考える。 ○どのような生活習慣を改善したいか。	・携帯やゲームをやりすぎている。 ・宿題を後回しにしている。 ・寝る時間が遅い。	・課題を把握しやすくするために、一人一台端末を用いてアンケートをとり、クラスの結果を可視化する。
展 開	2 教材「箱根駅伝に挑む」を読んで、選手の気持ちになって話し合う。 ○青山学院大学陸上競技部（長距離ブロック）の強さの秘密は何だろうか。 ○大会後、生活の在り方を見直したのはなぜだろうか。 ◎「監督が見ているから」「先輩に言われたから」するのでは、なぜだめなのだろうか。	・掃除を徹底している。 ・自分たちで話合って改善している。 ・準備をしっかりしている。 ・勝つための準備の一つだから。 ・決まりをきちんと守れていない部分があったから。 ・自分の意思で行動していないから。 ・当たり前のことを当たり前にできないと、強くはなれないから。	・167ページの貼り紙は、選手たちが自ら考えて作ったものであることを伝え、自主的に行動していることに触れる。 ・考えがまとまらない生徒には、「練習とは関係のないように思われることが、なぜ必要なのか。」と問う。 ・運動部ではない生徒には、学校行事やテストなどの場面を想起するよう声を掛ける。 ◎ 自らの意思で生活をより豊かにするための生活習慣の在り方や意義について考えている。 ・考えがまとまらない生徒には、級友の考えの中で最も自分の考えに近いものを選ぶように助言する。
	3 「生活習慣を改めたい。」と、どのくらい感じたか気持ちの変化を表す。	・ 	・気持ちの変容を可視化するために「ポジショニング」の機能を使用する。
終 末	4 授業の振り返りを行う。 ・ポートフォリオに感想を書く。 ・教師の説話を聞く。	・生活習慣を改めることが、パフォーマンスにも影響することが分かった。 ・部活動で強くなるために、生活態度を改めていきたいと思った。	・本時の学習を振り返ることで、充実した生活を送るために必要なことについて、考えを深められるようにする。